

■松田町人口ビジョンにおける将来目標人口の検討

〈現行計画での将来目標人口の推計と実績〉

・現行計画（平成 28 年 3 月策定）における将来目標人口の達成に向けた 3 つのポイントを踏まえ、計画策定移行の 10 年間の経過と取り組みを踏まえ、策定当時における将来目標人口の推計と、その後の国勢調査等の結果を下表に整理します。

【現行計画での将来目標人口の推計と実績の一覧表】

		推計値			実績値		
		平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	
総人口		11,676	11,208	10,733	11,171	10,836	
	増減数				-37	103	
合計特殊出生率		—	1.23	1.32	1.15	1.08	
	増減数				-0.08	-0.24	
社会動向 (転出・転入)		—	—	-182	—	-111	
	増減数					71	
三階層別人口	年少人口 (0～14歳)		1,225	1,119	1,027	1,118	1,030
		増減数				-1	3
	生産年齢人口 (15～64歳)		7,285	6,634	6,091	6,553	6,133
		増減数				-81	42
	老年人口 (65歳以上)		3,118	3,455	3,615	3,496	3,673
		増減数				41	58
住宅建設戸数	増減数	—	—	30	—	74	
						44	

- i. 総人口については、平成 22（2010）年を基準年とした推計結果では平成 27（2015）年で推計値を下回り減少したものの、令和 2（2020）年には推計値を上回っている。
- ii. 合計特殊出生率については、平成 27（2015）年及び令和 2（2020）年ともに、当初の目標値（H27：1.23、R2：1.32）を下回っており、少子化傾向が年々強まってきている。
- iii. 社会動向（転出・転入）においては、令和 2（2020）年では推計値よりも下回っており、社会減が抑制されている。
- iv. 年齢三階層別人口においては、平成 27（2010）年では老年人口（65歳以上人口）が推計値を上回り、年少人口（0～14歳人口）及び生産年齢人口（15～64歳人口）では推計値を下回り、少子・高齢化の進行が想定より早まる傾向ととなっていたが、令和 2（2020）年では年少人口及び生産年齢人口は推計値を上回り、老年人口は下回ったことにより当初よりも少子・高齢化の進行が緩やかになってきている。
- iv. 住宅・宅地供給については、令和 2（2020）年では推計値を上回る住宅（専用住宅・共同住宅）が供給され、松田町の人口増加につながっている。

〈人口ビジョンの策定にあたっての前提条件〉

◆現行計画における将来目標人口（令和 22 年：10000 人）は、松田町の主要な計画となる第 6 次総合計画や都市計画マスタープランなどにおける将来人口フレームの目標人口にもなっていることから、今期計画においても継承し、**令和 22（2040）年に総人口 10,000 人**を目標人口として設定します。

◆将来目標人口の達成に向けては、現行計画と同様に松田町の人口減少に歯止めをかけるための**3つのポイント**を踏まえ、総合戦略での取り組みに繋げていきます。

- ①合計特殊出生率を上げる方策
- ②推計人口で想定する**社会移動（転出・転入）を±0**にする方策
- ③**新たな住宅・宅地の供給・整備や空き家の活用**などによる定住人口を増やす方策

〈将来人口の推計〉

